



第3回兼高かおる賞、今年は見送り

海外旅行ブームをけん引したジャーナリスト、故・兼高かおるさんの業績を称え、遺志を受け継ぎ、その名が後世にまで語り継がれることを願って創設した「兼高かおる賞」の第3回受賞者決定を今年は見送ることになりました。同賞は一般社団法人日本旅行業協会と一般社団法人日本旅行作家協会の共催、一般財団法人兼高かおる基金の後援で、選考は日本旅行作家協会内の兼高かおる賞実行委員会が行い、最終選考の段階で受賞候補者にお伝えしましたが、ご本人の事情で受賞を辞退されました。辞退の理由は述べられていません。当協会としてもご辞退は誠に残念ですが、改めて来年2025年に「第3回」受賞者を選考します。今年の候補者のお名前は公表いたしません。

兼高かおる賞について

150余りの国々を取材し、TVの長寿番組「兼高かおる世界の旅」(TBS系、1959～1990)で知られる故・兼高かおるさんは、海外旅行ブームをけん引したジャーナリストであり、兼高さんに憧れ、旅行業界のリーダー、あるいは作家や文化人をめざした人々は数知れません。一般社団法人日本旅行作家協会創立会長斎藤茂太さんのあとを継ぎ二代目会長、さらに名誉会長として、会員をリードし指針を与えてきました。2019年1月に90年の生涯を閉じました。兼高さんの業績を称えるとともに、遺志を受け継ぎ、その名が後世にまで語り継がれてゆくことを願い、一般社団法人日本旅行業協会および一般財団法人兼高かおる基金とともに、本賞を創設しました。第1回受賞者は漫画家、作家のヤマザキマリさん、第2回は俳優の山口智子さんです。

なお、日本旅行作家協会は「兼高かおる賞」のほかに、すでに「斎藤茂太旅の文学賞」を設け、今年第9回を迎え、また「旅の良書」選定の事業も毎年行っています。

◇兼高かおる

「兼高かおる基金」ホームページから要約



1928年2月29日(閏年の閏日)神戸市生まれ。「横浜人形の家」館長、日本旅行作家協会会長など歴任。日本女性放送者懇談会賞、菊池寛賞、文化庁芸術選奨、紫綬褒章など受賞(受章)。著書「世界とびある記」ほか。留学で1954年渡米、TBSテレビ系列紀行番組「兼高かおる世界の旅」は31年間の長寿番組。地球環境汚染や各国の武力紛争を憂い、地球を守る活動を続けました。(写真 ©林 莊祐)

本報道資料のお問い合わせ先:兼高かおる賞実行委員会(日本旅行作家協会内)

電話:03-3538-2345 e-mail:jtwo@minos.ocn.ne.jp 担当:八重野充弘